

## 令和3年度 大阪府泉州医療・病床懇話会 議事概要

開催日時：令和4年1月13日（木）午後2時から午後3時30分

開催場所：Web開催

出席委員：15名

（委員定数17名、定足数9名であるため有効に成立）

笠原委員、河崎委員、鹿島委員、亀山委員、藤本委員、上野委員、泉谷委員、永野委員、矢田委員、久禮委員、石本委員、若松委員、八田委員、泉元委員、小池委員

### ■議題1 令和3年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料1】令和3年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

【資料5】二次医療圏における各医療機関の診療実態

【資料5（別添）】泉州二次医療圏における各医療機関の診療実態

【参考資料1】過剰な病床の状況

【参考資料2】医療法上の過剰な病床の状況

【参考資料3】地域医療構想に関する各種データ HP 公表について

【参考資料4】重点支援区域について

【参考資料5】病床機能の再編支援について（申請病院一覧）

【参考資料6】医師の働き方改革について

【参考資料7】小児医療提供体制の検討について

（質問）

○地域医療構想での病床機能分化の状況について、参考資料2によると慢性期は過剰な圏域があれば不足する圏域がある等、地域性があり、府域全体では不足している。泉州圏域では慢性期が過剰であっても将来的に問題ないのではないか。

（大阪府の回答）

○過剰な病床への転換について議論するうえでは、参考資料1（現状の病床数と病床数の必要量との比較）が基本的な考えとなる。慢性期においてもポストアキュート、サブアキュートの役割を担う病床はあると思うが、引き続き、回復期への転換を進めていく。

### ■議題2 令和3年度泉州二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

資料に基づき、和泉保健所から説明

【資料2】令和3年度泉州二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

### ■議題3 令和3年度泉州二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、和泉保健所から説明

【資料3】令和3年度病院プラン各医療機関別一覧

【資料4】令和3年度泉州二次医療圏病院連絡会結果（概要）

【資料6】非稼働病床の現況について

<議題2及び議題3に対する主な意見・質問等>

(質問)

○地域医療構想については、2025年に向けた地域別による病床機能の状況を踏まえ、進めていくということによいのか。

(大阪府の回答)

○基本的な方向性は、そのとおり。病床機能の報告基準は並行して検討していく。

(質問)

○地域医療支援病院の承認にあたっては、外形的な基準だけでなく、何等かの指針等、大阪府としての考えがあるのか。

(大阪府の回答)

○地域の意見を伺い、判断していく。また、医療法施行規則改正により、都道府県知事が地域医療支援病院の承認要件を定めてもよいことになったので、今後、追加の承認要件等を付すべきかどうか検討していきたい。

(質問)

○和泉市立総合医療センターの高度急性期への転換で、「過剰な病床への転換は望ましくない。」との大阪府の見解があるが、クリアすべき条件はあるのか。

(大阪府の回答)

○地域において協議の上、転換が必要と合意されれば転換は可能である。病床機能の報告基準ともリンクするため、その基準については、今後の課題と認識している。なお、和泉市立総合医療センターの過剰病床への転換については、懇話会の意見を踏まえ、保健医療協議会で協議いただく。

(意見)

○過剰な病床への転換が認められていくと、地域医療構想はなし崩しになるのではないか。

○大阪府は、地域医療構想を進めるにあたり、「圏域の意見を聞いて」病床機能の転換の議論を進めるというが、病床機能の報告基準を明確にするべきではないか。

○和泉市立総合医療センターが、今後、地域医療支援病院になれば、大阪府の知事権限の行使による影響もあると思うので、よく吟味していただきたい。公は公の役割を、民間ができることは民間にしていきたい。

■議題4 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

資料に基づき、和泉保健所から説明

【資料7】地域医療への協力に関する意向書提出状況（診療所新規開設者）

【資料8】地域医療への協力に関する意向書提出状況（医療機器新規購入・更新者）

■議題5 泉州二次医療圏における第7次医療計画の中間評価

資料に基づき、和泉保健所から説明

【資料9】第7次大阪府医療計画中間評価 泉州二次医療圏

<議題4及び議題5に対する主な意見・質問等>

○意見・質問なし